

20240704_②発足式_議事録（要旨版）

【開催概要】

開催日時：2024年7月4日（木）14:30～15:00

開催場所：一宮市役所本庁舎6階特別会議室

参加団体数：11団体

【1. 経緯説明】

今年3月に設立された準備会議での協議を経て、本日設立総会において「目指す姿」と「DXルール」が制定され、正式に協議会が発足しました。会長には白鳥教授（名古屋大学医学部附属病院）、事務局を一宮市地域DX戦略室が担当し、アクセンチュアの支援を受けながら都市OSを基盤とする地域DXの推進を図る方針が示されました。

【2. 市長あいさつ】

協議会の正式名称を「一宮スマートシティ推進協議会」、愛称を「i-スマ」とし、キャッチコピーを「世代を紡ぎ未来を創る」と定めた旨が発表されました。行政単独ではなく、産官学が連携し、市民目線でのサービス提供を目指していく方針が示されました。

【3. 会長あいさつ】

本協議会は、総務省の公募事業である「地域課題解決のためのスマートシティ推進事業」として採択された「一宮市生涯健康増進事業」を基盤に展開されます。今後は、都市OSの構築とデータ利活用による公共サービスの提供に向けて、地域住民や事業者と共に議論を進めることが呼びかけられました。

【4. 会員あいさつ】

各会員からの自己紹介と、スマートシティへの貢献に向けた取り組みが紹介されました。主な内容としては、高齢者や子ども向けの教育・健康支援、電力データを活用した健康管理、MaaSアプリの普及、地域DXへの期待、中小企業支援、WEBサイト制作の取組、災害対応のICT活用などが挙げられました。

【5. 質疑応答】

報道機関より協議会の今後のスケジュールや、健康支援アプリのリリース予定についての質問がありました。定例会は月1回開催予定で、ポータル情報の公開や入会方法も案内されました。また、データ連携基盤の分野と構造についても質疑があり、他の自治体との重複を避けた分野設計であることが説明されました。